

検討課題4 主に研究に従事する者の専従換算

1 課題内容

フラスカティ・マニュアル（以下「FM」という。）では、研究者数の把握について、頭数（実数）及び実際に研究に従事した割合で換算した値（専従換算値）を把握することを勧めている。

平成24年1月の統計委員会答申における、調査票甲及び調査票乙の調査事項のうち、研究者数の内訳である「主に研究に従事する者」については、専従換算でも表すべきという指摘を踏まえ、検討する。

2 科学技術研究調査における取扱い

研究者については、研究費と並び科学技術研究調査（以下「本調査」という。）の最も重要な結果であり、記入漏れとなるおそれのある兼務者についても正確な補足を促す観点から、調査票甲及び調査票乙では、総数のみの記入に止まらず、その内訳である「主に研究に従事する者」、「研究を兼務する者」ごとの記入を求めている。

なお、「主に研究に従事する者」については、研究に概ね専従しているとして、記入負担の軽減にも配慮して、専従換算値の記入は求めないこととしている。

【現行の調査票】

		実数	実際に研究関係業務に従事した割合で按分した値
		うち女性	
総 数			-----
研究者	主に研究に従事する者		-----
	研究を兼務する者		
研究補助者			
技能者			
研究事務その他の関係者			

「研究者」とは、大学（短期大学を除く。）の課程を修了した者、又はこれと同等以上の専門的知識を有する者で、特定のテーマを持って研究を行っている者をいう。

・「主に研究に従事する者」とは、業務のうち研究関係業務に従事した時間が主である者をいう。

・「研究を兼務する者」とは、業務のうち研究関係業務に従事した時間が主でない者をいう。

3 課題に対する検討状況

①結果利用における研究者の内訳の必要性

本調査が公表する研究者の内訳を表章した結果表に関する具体的利用ニーズを確認したところ、内訳区分に関する具体的ニーズは確認されなかった。

なお、FMでは、研究開発に携わる人員の測定について、実数と専従換算値の必要性について説明しているものの、本調査のように研究専従者と兼務者を分けて把握することは求めている。

②記入負担の軽減及び正確性の確保

研究者の内訳区分を廃止し、実数と専従換算値を把握するようにすれば、記入欄の簡素化が図れ、記入者の負担が軽減する。一方で、「研究を兼務する者」が研究者から除かれることのないよう、配慮が必要。

4 事務局案 (第1案)

内訳区分については必ずしも必要とされていないことから、研究者数が過小報告されることのないよう、「研究を兼務する者」も含まれることを明記した上で、内訳区分を廃止し、併せて研究者について専従換算値を把握する。

【調査票イメージ】

	実数		実際に研究関係業務に従事した割合で按分した値
		うち女性	
総 数			-----
研究者(兼務する者も含む)			
研究補助者			
技能者			
研究事務その他の関係者			

「研究者」とは、大学(短期大学を除く。)の課程を修了した者、又はこれと同等以上の専門的知識を有する者で、特定のテーマを持って研究を行っている者(いい、専ら研究関係業務に従事している者だけでなく、研究関係以外の業務にも従事している者(兼務する者)も含む。

(第2案)

兼務者の記入漏れがないよう正確な補足を促すことを重視し、現行どおり研究者(専従者)と兼務者を区分する。なお、「主に研究に従事する者」は、研究関係業務の専従者であることを明確に表すため、「専ら研究に従事する者」に変更する。

【調査票イメージ】

		実数		実際に研究関係業務に従事した割合で按分した値
			うち女性	
総 数				-----
研究者	専ら研究に従事する者			-----
	研究を兼務する者			
研究補助者				
技能者				
研究事務その他の関係者				

「研究者」とは、大学(短期大学を除く。)の課程を修了した者、又はこれと同等以上の専門的知識を有する者で、特定のテーマを持って研究を行っている者をいう。

- ・「専ら研究に従事する者」とは、研究関係業務に専従している者をいう。
- ・「研究を兼務する者」とは、研究関係以外の業務にも従事している者をいう。